

吟道月報

No.29
49.125

碩心会

基礎を確立して来たことは同慶の
至りに存じます。

碩心会再建に歩を踏み出してか

昭和四十九年を顧みて

会長 二二廿而云丘山

歲月人を待たず四十九年も何時の間にもやがて師走となり
りました。一年間を皆杯共々吟道に精進して参りました
が、吟の道の奥深さを感じしみわかるだけで、いつ
こうに向上の跡を感じないまま、又来年に期待する外
ないと、感を深くします。勿論、初歩、初伝、中伝、
奥伝と自分ではわからないまま、周囲から見れば各人
の進歩の跡、歴然たるものがありますから倦まず、た
ゆまず、終生の業しみとし、健康を兼ねた趣味として
精進あるのみと信じます。

奥の地区大会・吟舞連の大会・県大会・温習会、文
化祭と大会ある毎に碩心会の実績を挙げ、ゆるぎない

ら漸十八年になります。会の歩みを一年、支部の歩みを
皆杯の御協力を得て一年と、二年に亘り月報で思出を綴
つて来ましたが、その足跡の着実さ、その和の雰囲気の
力強さを感じしみと感じ取られました。

碩心会も遠業地区から大船、江塚、茅ヶ崎と伸び広が
り、十七支部二十五教場を有するに到りました。会員数
もこの十二月一日現在で三百十五名、内男性百六十一名
女性百五十四名となり、奥伝以上37名、中伝101名、初伝
110名と、その内若も早や押しも押されぬ立派な会に
成長いたしました。指導者の方々会員の一人一人の熱意
と協力の和が、ここに美事に実を結んだと言ふ外ありませ
ん。

過ぐる一年を顧みて、各自の精進に熱意の不足なかり
しか、発声に力の不足なかりしか、指導者の指導に啓え

て吟じ方の工夫に不足なかりしか……、いろいろ反省して、来る年に更に一步を前進させる足がかりとしたいものであります。

御家族共々御健勝に揃つてよいお年をお迎え下さる杯お祈りいたします。

以上

県本部関係

- ◎、十一月三十日、県本部理事会を兼ねて、横須賀市勤労会館に於いて納吟会開催。参加者七十名
- ◎ 総本部主催による全国指導者吟道大会。来年二月十六日(日)千代田区霞が関久保講堂に於て開催。神奈川県より十五名が推せんされます。
- ◎ 五十年初吟会は一月二十六日(日)平塚市農業会館に於て開催。

碩心会本部関係

- ◎ 社団法人日本詩吟学院会風会認可の碩心会の看板が十一月三十日会に届きました。会長宅に表示します。初吟会に持参。皆様に見ていただきます。
- ◎ 県本部理事の送出基準が改正され、碩心会から会員数(登録員数二七〇名)によつて本部役員の外五名が定められました。次の五名の方に理事になっていただきます。
井沢朝風、沼田光風、小峰順風、中村幸風、千葉剣風、
- ◎ 各支部教場の初吟会の日取りは次の通りであります。
十二月十三日、銀詠支部
" 十四日、大船、戸塚支部合同
" 十五日、堀内支部
" 十六日、一色支部、長柄支部

十二月十七日、沼向、建設、下山口の各支部

十八日 山の根支部

十九日 蓮子支部 桜山支部

二十日 松和支部

◎ 初吟会(懇親会)は一月十二日(日)午前十時開場(入浴可) 十一時開会十六時半終了、蓮子海岸の京急蓮子ビーチセンターにて開きます 会場溢るるまでに御参集を期して存じます。

会員異動

退会方々員

74	大船支部	上村 晴山
94	大船支部	吉田 栖山
	浜内支部	遠藤 幸彦
		渡辺 勝

新会員

大船C支部	吉田貴志子	戸塚区飯島町一七三三ノ九五 電〇四五八八九一 四六三四番
沼向支部	山崎利三郎	蓮子市蓮子三〇三〇二二 電〇四六八(七一)四五九四番
浜内支部	西岡美和江	葉山町堀内五〇八 電〇四六八(七五)〇四五八番

移籍籍会員

109	渡辺 恵	沼向より	大船A元
161	荒谷 小く	沼向より	蓮子B元
228	蒲池トシ子	沼向より	蓮子B元

会員の声の欄は、会員の声なき声の意味もあります 匿名(ST等)でも結構です 振って投書下さい。